

## 軍記物語の形容詞対照語彙表

村田菜穂子\*<sup>1</sup> 前川 武\*<sup>2</sup> 山崎 誠\*<sup>3</sup>

### A Contrastive Lexical List of Adjectives in the *Gunki Monogatari*

Nahoko Murata\*<sup>1</sup>, Takeshi Mekawa\*<sup>2</sup> and Makoto Yamazaki\*<sup>3</sup>

#### Abstract

This is a vocabulary list of adjectives used in the three *Gunki Monogatari* (tales of battles) in the Kamakura period: the *Hogen monogatari*, *Heiji monogatari* and *Heike monogatari*.

The list shows the frequency of adjectives in each tale and indicates which adjective is used and how often in each tale, and which adjective appears for the first time or has already been used in ancient works, prose works from the Heian period, the *Hachidaishu*, or *Kunten* materials.

This is the fifth list in a series of database studies of historical Japanese vocabulary following: *Word structure of Ancient Adjectives*, *A Contrastive List of Adjectives in the Hachidaishu*, *A Contrastive List of Adjectives Used in Prose Works of the Heian period* and *A Contrastive List of Adjectives Used in Kunten Materials*.

#### キーワード

形容詞・保元物語・平治物語・平家物語・対照語彙表

#### Key Words

Adjectives, Hogen monogatari, Heiji monogatari, Heike monogatari,  
contrastive vocabulary list

#### 一 はじめに

日本語形容詞・形容動詞語彙の史的 연구를推し進めるために、これまで拙著『形容詞・形容動詞の語彙論的研究<sup>(註1)</sup>』において、①「古代語形容詞の語構成」・②「八代集の形

\* 1 むらた なほこ：大阪国際大学短期大学部准教授〈2007.12.21受理〉

\* 2 まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部准教授

\* 3 やまざき まこと：独立行政法人国立国語研究所研究開発部門言語資源グループ

容詞対照語彙表」・③「中古散文作品の形容詞対照語彙表」・④「中古散文作品の形容動詞対照語彙表」・⑤「訓点資料の形容詞の語構成」⑥「今昔物語集の形容動詞対照語彙表<sup>(註2)</sup>」といった基礎資料を作成・公表し、前掲①②③⑤を用いて形容詞についての計量的分析や語構成様式の史的展開の様相等の分析・考察を行ってきた<sup>(註3)</sup>。さらに続いて、⑦「軍記物語の形容動詞対照語彙表<sup>(註4)</sup>」を公表し、前掲④⑥と比較分析を行うことによって形容動詞語彙から見た各作品の特質などを考察してきた<sup>(註5)</sup>。

本稿は、先に示した基礎資料に続いて鎌倉時代の保元物語・平治物語・平家物語を取り上げ、これらの軍記物語でどのような形容詞が使用され、また、それがどのくらいの回数ずつ使用されているかを対照できるようにまとめたものである。

## 二 編集基準ならびに語彙表の見方

語彙表の編集は、拙著②③の編集方針にほぼ従う形で、[1] 見出し語の配列 [2] 見出し語形の統一 [3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い [4] 複合語の扱い [5] 漢字 [6] 活用についてはそれを踏襲し、さらに、[7] 軍記物語全体における各見出し語の使用率と、すでに拙著で公表している上代資料・八代集・中古散文作品・訓点資料における各見出し語の出現状況が把握できるように、[8] 四資料における出現状況を記載している。

※凡例

### [1] 見出し語の配列

歴史的仮名遣いにより五十音順に配列する。

### [2] 見出し語形の統一

意味の違いに関係しない読み方・発音の違いは同一語とみなし合併して採る。同一語・別語の認定は『古語大事典』〔小学館〕・『日本国語大辞典』〔小学館〕に拠る。

例…ねむたし→ねぶたし、あひなし→あいなし等。

### [3] 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語および接頭辞が付いた語の扱い

助詞・助動詞（補助動詞を含む）を介在させている語形、および接頭辞がついた語形は次のように扱った。

#### (1) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が上代資料・八代集・中古散文作品・訓点資料<sup>(註6)</sup>に存在する場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語と合併して採る。

例…いふかひもなし→いふかひなし、ひとのおやげなし→おやげなし、やるかたもなし→やるかたなし等。

例…いはむかたなし・いふべきかたなし→いふかたなし、とりまうしがたし→とりがたし、ゆるされがたし→ゆるしがたし等。

## 軍記物語の形容詞対照語彙表

- (2) 助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形が上代資料・八代集・中古散文作品・訓点資料に存在しない場合は、助詞・助動詞（補助動詞を含む）を外した語形を仮の語形として設定し立てる。

例…うとましげもなし→うとましげなし、まじりもなし→まじりなし等。

例…かきつくさむかたなし→かきつくすかたなし、すべきかたなし・せむかたなし→するかたなし、そしられなし→そしりなし等。

- (3) 接頭辞の付いた語の扱い

例…おんころたがひなし→ころたがひなし、おんころづよし→ころづよしのように、接頭辞を外した語形で採る。

- [4] 複合語の扱い

名詞+形容詞（例…おくふかし・かひなし）や動詞連用形+形容詞（例…ありがたし・はべりにくし）等は切り離さず複合的な単位として認め、一語として扱う方針によって形容詞を選出した。これは、形容詞の造語法として複合語の産出が新語形成の一端を担っている事実を重視したことに拠る。

- [5] 漢字

各形容詞の主な意味を表すために適宜振ったもの。

- [6] 活用

各見出し語がそれぞれ何活用の形容詞であることを示したもの。

- [7] 軍記物語三作品における各見出し語の使用率

各見出し語が軍記物語三作品においてどの程度使われているか（使用率）を、各見出し語の延べ語数÷軍記物語三作品における総形容詞の延べ語数で算出したもの。

- [8] 四資料における出現状況

各見出し語がどの資料に使われているかを簡潔に示すべく、その見出しが使われた資料に○を施した。

### 三 調査した資料

「保元物語」（略称「保元」）と「平治物語」（略称「平治」）は、日本古典文学大系『保元物語平治物語』をテキストとし、「平家物語」（略称「平家」）は、同『平家物語』上下をテキストとした。なお、坂詰力治・見野久幸氏編『保元物語総索引』・同『平治物語総索引』・金田一春彦氏他編『平家物語総索引』も参考とした。

【付記】

本稿は、日本学術振興会平成19・22年度科学研究費補助金（基盤研究（C）課題番号19520407）による研究成果の一部である。

- 注1 2005・11 和泉書院。元は、①『大阪国際女子大学紀要』27-1 [2001・9]、④『大阪国際女子大学紀要』26-2 [2000・9]、⑤『大阪国際大学紀要国際研究論叢』17-1 [2003・10]
- 注2 『大阪国際大学紀要国際研究論叢』18-2 [2005・1]
- 注3 前稿一「八代集の形容詞—語構成論的考察—」『帝塚山学院大学日本文学研究』32 [2001・2]（拙著第一篇第一章および第二章の一部）・前稿二「平安時代の形容動詞—ゲナリと～カナリ—」『国語学』52-1 [2001・3]（拙著第三篇第二章の大部）・前稿三「上代形容詞の語構成」『国語語彙史の研究』20 [2001・3和泉書院]（拙著第一篇第一章および第二章の一部）・前稿四「八代集の形容詞—語彙の計量的分析—」『甲南国文』48 [2001・3]（拙著第一篇第一章および第二章の一部）・前稿五「中古散文の形容詞—語彙の数量的分析—」『表現研究』74 [2001・10]（拙著第一篇第二章第一節および第二節の一部と第三篇第一章の一部）・前稿六「古代語形容詞の造語形式—中古散文の形容詞を中心に—」『帝塚山学院大学日本文学研究』33 [2002・2]（拙著第一篇第二章第五節の大部）・前稿七「語構造から見た古代語形容詞—二つの系列—」『帝塚山学院大学日本文学研究』34 [2003・2]（拙著第一篇第二章第三節の一部）・前稿八「古代語形容詞の語構造分析についての一考察」『国語語彙史の研究』22 [2003・3 和泉書院]（拙著第一篇第二章第三節の一部）・前稿九「古代語形容詞の階層構造」『大阪国際大学紀要国際研究論叢』16-2 [2003・3]（拙著第一篇第二章第四節の大部）・前稿十「上代形容詞の継承性と中古新出の形容詞」『滋賀大國文』41 [2003・7]（拙著第一篇第二章第二節の一部）・前稿十一「訓点資料の形容詞—語彙の量的性格—」『帝塚山学院大学日本文学研究』35 [2004・2]（拙著第一篇第二章第一・二・三・五節の一部）・前稿十二「中古形容詞の量的性格—既存の形容詞と新出の形容詞—」『滋賀大國文』42 [2004・7]（拙著第一篇第二章第二・三・五節の一部）・前稿十三「中古形容詞における特有語の性格」『帝塚山学院大学日本文学研究』36 [2005・2]・前稿十七「形容詞・形容動詞語彙の量的構成—中古散文作品を中心に—」『日本語学』25-5 [2006・4]
- 注4 『帝塚山学院大学日本文学研究』38 [2007・2]
- 注5 前稿十四「今昔物語集の形容動詞—語種からの分析—」『国語語彙史の研究』24 [2005・3 和泉書院]・前稿十五「今昔物語集の形容動詞—ゲナリと～カナリ（一）—」『滋賀大國文』43 [2005・7]・前稿十六「今昔物語集のカナリ型形容動詞」『帝塚山学院大学日本文学研究』37 [2006・2]・前稿十八「軍記物語の形容動詞の一考察」『国語語彙史の研究』26 [2007・3 和泉書院]
- 注6 拙著（注1）第一篇第一章参照。

軍記物語の形容詞対照語彙表

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
	○	○	○	あかし	赤	ク		2	2	4	0.09%
○		○	○	あかし	明	ク			3	3	0.07%
○		○	○	あきらけし	明	ク	1		2	3	0.07%
○	○	○	○	あさし	浅	ク	2	3	21	26	0.57%
		○	○	あさまし	浅	シク	16	1	25	42	0.93%
○		○	○	あし	悪	シク	14	11	32	57	1.26%
	○	○	○	あたらし	新	シク	1		7	8	0.18%
		○	○	あぢきなし	味気無	ク	1		1	2	0.04%
○	○	○	○	あつし	厚・敦	ク	1		3	3	0.07%
○	○	○	○	あつし	暑・熱	ク	1		7	8	0.18%
			○	あとかたなし	跡方無	ク	1		2	3	0.07%
	○			あひおなじ	相同	ク	1			1	0.02%
				あぶなし	危	ク	2		5	7	0.15%
			○	あへなし	敢無	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	あまねし	遍・普	ク			3	3	0.07%
○	○	○	○	あやし	靈異・奇・怪	シク	3	3	19	25	0.55%
	○	○	○	あやふし	危	ク	3	2	7	12	0.26%
				あらかなし	荒気	ク	3		2	5	0.11%
○	○	○	○	あらし	荒・疎	ク			4	4	0.09%
○			○	ありがたし	有難	ク	2		40	42	0.93%
				あわたたし	慌	シク			2	2	0.04%
○	○		○	あをし	青	ク			1	1	0.02%
			○	いかめし	厳	シク	3			3	0.07%
			○	いくほどなし	幾程無	ク	2			2	0.04%
				いし	美	シク			1	1	0.02%
				いしゆふかし	意趣深	ク	3			3	0.07%
	○			いそがはし	忙	シク			1	1	0.02%
○	○	○	○	いたし	痛・甚	ク			16	16	0.35%
○	○		○	いたはし	労	シク	3		7	10	0.22%
				いたまし	痛	シク	1		3	4	0.09%
	○	○	○	いちしるし	著	ク			1	1	0.02%
			○	いちはやし	逸早	ク			1	1	0.02%
	○	○	○	いとけなし	幼	ク	2	1	8	11	0.24%
		○	○	いとどし		シク	1		1	2	0.04%
○		○	○	いとほし	労・愛	シク		1	16	17	0.37%
				いひかひなし	言甲斐無	ク	4	1		5	0.11%
			○	いふかひなし	言甲斐無	ク		4	6	10	0.22%
○		○	○	いぶせし	鬱	ク		1	5	6	0.13%

国際研究論叢

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
			○	いまいまし	忌忌	シク	3		4	7	0.15%
				いまはし	忌	シク			1	1	0.02%
			○	いまめかし	今	シク			1	1	0.02%
			○	いみじ		シク			2	2	0.04%
○	○	○	○	いやし	賤・卑	シク	3	2	12	17	0.37%
○		○	○	うし	憂	ク	3		47	50	1.10%
		○	○	うしろめたし	後不安	ク			3	3	0.07%
○	○	○	○	うすし	薄	ク		1	1	2	0.04%
○	○	○	○	うたがはし	疑	シク			3	3	0.07%
			○	うたがひなし	疑無	ク		1		1	0.02%
			○	うたてし		ク		4	18	22	0.48%
○		○	○	うつくし	愛・美	シク	1	3	17	21	0.46%
	○			うつたかし	堆	ク			2	2	0.04%
			○	うとうとし	疎疎	シク			1	1	0.02%
	○	○	○	うとし	疎	ク			3	3	0.07%
		○	○	うとまし	疎	シク			1	1	0.02%
○				うやうやし	恭	シク	1			1	0.02%
○		○	○	うらめし	恨・恠	シク	3		12	15	0.33%
		○	○	うらやまし	羨	シク	1	1	4	6	0.13%
○	○		○	うるはし	麗・美	シク			3	3	0.07%
○		○	○	うれし	嬉・欲	シク	2	2	24	28	0.62%
				おさへがたし	抑難	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	おそし	遅・鈍	ク	2		7	9	0.20%
		○	○	おそろし	恐	シク	11	12	50	73	1.61%
			○	おだし	穩	シク			5	5	0.11%
				おとなげなし	大人気無	ク			1	1	0.02%
			○	おとなし	音無	ク	2	2	9	13	0.29%
○	○	○	○	おなじ	同	シク	36	18	276	330	7.27%
				おびたし	夥	ク	6	3	28	37	0.82%
		○	○	おほけなし		ク	1	1	1	3	0.07%
○	○	○	○	おほし	多・大	ク	27	12	127	166	3.65%
			○	おほし	思	シク	2	2	31	35	0.77%
○		○	○	おほつかなし	覚束無	ク	7	2	21	30	0.66%
○	○	○	○	おもし	重	ク	4	2	23	29	0.64%
○		○	○	おもしろし	面白	ク			11	11	0.24%
		○	○	おもはし	思	シク			1	1	0.02%
				おもはゆし	面映	ク			1	1	0.02%
			○	およびがたし	及難	ク	1			1	0.02%

軍記物語の形容詞対照語彙表

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
				かうばし	香	ク	2		3	5	0.11%
	○	○	○	かぎりなし	限無	ク	1	1	1	3	0.07%
		○	○	かくれなし	隠無	ク	1			1	0.02%
				かくれやすし	隠易	ク			1	1	0.02%
		○	○	かしかまし	囂	シク			1	1	0.02%
○	○	○	○	かしこし	恐・畏・賢	ク			4	4	0.09%
				かぞへがたし	数難	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	かたし	固・堅	ク		2	2	4	0.09%
○	○	○	○	かたし	難	ク	3		72	75	1.65%
○	○		○	かたじけなし	辱・忝	ク	7		26	33	0.73%
			○	かたはらいたし	傍痛	ク			2	2	0.04%
				かだまし	紆	シク			1	1	0.02%
○	○	○	○	かなし	悲・哀・愛	シク	19	6	66	91	2.01%
			○	かなひがたし	適難	ク	1			1	0.02%
			○	かひがひし	甲斐甲斐	シク		2	4	6	0.13%
		○	○	かひなし	甲斐無	ク	6	2	18	26	0.57%
	○			かまびすし	喧・囂	ク			2	2	0.04%
○		○	○	からし	辛・鹹・酷	ク	1		5	6	0.13%
○			○	かるし	軽	ク			1	1	0.02%
	○		○	かるがるし	輕輕	シク			1	1	0.02%
	○		○	かるし	軽	ク	2	2	3	7	0.15%
○		○	○	きたなし	汚穢・濁・穢	ク			2	2	0.04%
	○		○	きびし	厳・密	シク	2		5	7	0.15%
○	○	○	○	きよし	清	ク			2	2	0.04%
○			○	くさぶかし	草深	ク	1			1	0.02%
			○	くちをし	口惜	シク	13	10	25	48	1.06%
○	○		○	くはし	妙・細・詳	シク	1	1	7	9	0.20%
				くぼし	窪	ク			2	2	0.04%
		○	○	くまなし	隅無	ク			2	2	0.04%
○		○	○	くやし	悔	シク	2		4	6	0.13%
○	○	○	○	くらし	暗	ク	4	1	15	20	0.44%
○	○	○	○	くるし	苦	シク	2	2	24	28	0.62%
				くろぐろし	黒黒	シク			1	1	0.02%
○	○	○	○	くろし	黒	ク			15	15	0.33%
			○	けうとし	気疎	ク	1			1	0.02%
○			○	けし	異・怪	シク			4	4	0.09%
			○	けだかし	気高	ク			1	1	0.02%
	○		○	けはし	険	シク	2		1	3	0.07%

国際研究論叢

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
			○	こぐらし	小暗	ク			1	1	0.02%
			○	こころうし	心憂	ク	7	1	33	41	0.90%
○			○	こころぐるし	心苦	シク			22	22	0.48%
			○	こころせばし	心狭	ク	1		1	2	0.04%
		○	○	こころづよし	心強	ク	1		9	10	0.22%
	○		○	こころとし	心疾	ク			1	1	0.02%
○	○	○	○	こころなし	心無	ク	1		5	6	0.13%
			○	こころにくし	心憎	ク	2		2	4	0.09%
		○	○	こころふかし	心深	ク	1			1	0.02%
		○	○	こころほそし	心細	ク	5		22	27	0.59%
			○	こころみじかし	心短	ク		1		1	0.02%
		○	○	こころもとなし	心許無	ク	2		2	4	0.09%
		○	○	こころやすし	心安	ク	3	1	14	18	0.40%
	○		○	こころよし	快	ク			3	3	0.07%
		○	○	こころよわし	心弱	ク	2		7	9	0.20%
		○	○	こころをさなし	心稚	ク			1	1	0.02%
		○	○	こし	濃	ク			5	5	0.11%
○		○	○	こだかし	木高	ク			1	1	0.02%
			○	こちなし	骨	ク		1	2	3	0.07%
				ことあたらし	事新	シク			5	5	0.11%
		○	○	ことしげし	言繁・事繁	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	ことなし	事無	ク	1		1	2	0.04%
				ことゆゑなし	事故無	ク		4	7	11	0.24%
○	○		○	こはし	強	ク	3	2	12	17	0.37%
○		○	○	こひし	恋	シク	4	2	26	32	0.70%
				さうなし	左右無	ク	4	1	16	21	0.46%
				さかさかし	賢賢	シク	1		5	6	0.13%
○	○		○	さがし	険・峻	シク		1	4	5	0.11%
		○	○	さだめなし	定無	ク		1	1	2	0.04%
○		○	○	さびし	寂・淋	シク			2	2	0.04%
○	○	○	○	さむし	寒	ク		1	6	7	0.15%
○	○	○	○	さやけし	清・分明	ク			2	2	0.04%
			○	さりがたし	去難・避難	ク		1	3	4	0.09%
		○	○	さりげなし	然気無	ク	1			1	0.02%
		○	○	さわがし	騒	シク	1		1	2	0.04%
○	○	○	○	しげし	繁・茂	ク	1	3	19	23	0.51%
	○		○	したし	親	シク	3		15	18	0.40%
				したはし	慕	シク			1	1	0.02%



軍記物語の形容詞対照語彙表

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
			○	しどけなし		ク		1	1	2	0.04%
		○	○	しのびがたし	忍難	ク	1			1	0.02%
	○			しゃしがたし	謝難	ク	1			1	0.02%
	○		○	しりがたし	知難	ク	4			4	0.09%
○		○	○	しるし	知・灼・著	ク	1		4	5	0.11%
○	○	○	○	しろし	白	ク	2	3	37	42	0.93%
○	○	○	○	すくなし	少	ク	3		19	22	0.48%
			○	すげなし		ク			4	4	0.09%
		○	○	すごし	凄	ク			2	2	0.04%
	○	○	○	すさまし	凄	シク	4		3	7	0.15%
○	○	○	○	すずし	冷・涼	シク	1			1	0.02%
				すすどし	鋭	ク			1	1	0.02%
		○	○	すみよし	住良	ク			1	1	0.02%
		○	○	するかたなし	為方無	ク	3		6	9	0.20%
○	○	○	○	せばし	狭	ク	4		3	7	0.15%
				ぜひなし	是非無	ク	2		1	3	0.07%
				せめおとしがたし	責落難	ク	1			1	0.02%
				せんなし	詮無	ク	2	1	2	5	0.11%
			○	そこはかとなし		ク			1	1	0.02%
			○	そらおそろし	空恐	シク			1	1	0.02%
○	○	○	○	たかし	高	ク	6	5	47	58	1.28%
	○			たくまし	快・逞	シク	2		8	10	0.22%
○		○	○	たけし	武・猛	ク	4	4	13	21	0.46%
				たじなし	他事無	ク		2		2	0.04%
				たすかりがたし	助難	ク		1		1	0.02%
	○		○	ただし	正	シク	2	1	8	11	0.24%
				たづねいだしがたし	尋出難	ク	1			1	0.02%
				たてまつりがたし	奉難	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	たのし	楽	シク			1	1	0.02%
				たのみずくなし	頼少	ク			1	1	0.02%
○		○	○	たのもし	頼	シク	4	2	21	27	0.59%
○	○		○	たふとし	貴・尊	ク	2		9	11	0.24%
	○		○	たへがたし	堪難	ク			3	3	0.07%
			○	ためしなし	例無	ク	4			4	0.09%
○	○		○	たやすし	輒・容易	ク	5	2	16	23	0.51%
			○	たよりなし	便無	ク	1	1	3	5	0.11%
○	○	○	○	ちかし	近	ク	21	5	59	85	1.87%
	○		○	ちからなし	力無	ク	9	1		10	0.22%

国際研究論叢

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
○	○		○	ちひさし	小	ク	5	2	7	14	0.31%
				ちりやすし	散易	ク			1	1	0.02%
○	○	○	○	つたなし	怯・拙	ク	3		2	5	0.11%
			○	つみぶかし	罪深	ク	3			3	0.07%
			○	つめたし	冷	ク		1		1	0.02%
		○	○	つゆけし	露	ク			1	1	0.02%
				つゆふかし	露深	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	つよし	強	ク	3	1	17	21	0.46%
○		○	○	つらし	辛	ク		1	2	3	0.07%
		○	○	つれなし	無情	ク	2			2	0.04%
				ていたし	手痛	ク	3		4	7	0.15%
				てごはし	手強	ク			1	1	0.02%
	○	○	○	とがなし	咎無	ク		3		3	0.07%
		○	○	ところせし	所狭	ク	3	1	1	5	0.11%
○	○	○	○	とし	利・敏・疾	ク	1		12	13	0.29%
○	○	○	○	とほし	遠	ク	5	1	29	35	0.77%
○	○		○	ともし	乏	シク			1	1	0.02%
○	○	○	○	ながし	長	ク	6		25	31	0.68%
				なごりをし	名残惜	シク			5	5	0.11%
			○	なさけなし	情無	ク	3	2	10	15	0.33%
			○	なさけふかし	情深	ク	1		5	6	0.13%
○	○	○	○	なし	無	ク	122	80	676	878	19.35%
○		○	○	なつかし	懐	シク			7	7	0.15%
			○	なにとなし	何無	ク	1	3	2	6	0.13%
	○			なまぐさし	生臭	ク			1	1	0.02%
	○		○	ならびなし	並無・双無	ク			8	8	0.18%
				にがにがし	苦苦	シク	1		2	3	0.07%
○		○	○	にくし	憎	ク	1	7	10	18	0.40%
○		○	○	ねたし	嫌・妬	ク	1		1	2	0.04%
		○	○	ねふたし	眠・睡	ク			1	1	0.02%
				ねんなし	念無	ク	1			1	0.02%
			○	のがれがたし	遁難	ク	4	2		6	0.13%
		○	○	のどけし	長閑	ク		1	1	2	0.04%
		○	○	はかなし	果無・果敢無	ク	2		18	20	0.44%
			○	はかばかし		シク	2	3	3	8	0.18%
				はからひがたし	計難	ク	1			1	0.02%
	○			はかりがたし	量難	ク	1	1		2	0.04%
	○	○	○	はげし	激・烈	シク	1	5	18	24	0.53%

軍記物語の形容詞対照語彙表

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
			○	はしたなし	端	ク	1		2	3	0.07%
			○	はしちかし	端近	ク			1	1	0.02%
			○	はちがまし	恥	シク			3	3	0.07%
○		○	○	はづかし	恥	シク			13	13	0.29%
	○		○	はなはだし	甚	シク	2		2	4	0.09%
○	○	○	○	はやし	早・速	ク	4	2	14	20	0.44%
			○	はらあし	腹悪	シク			1	1	0.02%
			○	はらぐるし	腹黒	ク			1	1	0.02%
				ひきし	低	ク	1		1	2	0.04%
○	○	○	○	ひさし	久	シク	4	6	31	41	0.90%
		○	○	ひまなし	隙無・暇無	ク		5		5	0.11%
○	○	○	○	ひろし	広	ク	3		7	10	0.22%
				ひわかし	若	ク	1			1	0.02%
			○	びんなし	便無	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	ふかし	深	ク	13	18	84	115	2.53%
				ふせきがたし	防難	ク	2			2	0.04%
		○	○	ふたごころなし	二心無	ク		1		1	0.02%
○	○		○	ふとし	太	ク	3		6	9	0.20%
○	○	○	○	ふるし	古・旧	ク	1	1	21	23	0.51%
			○	ほいなし	本意無	ク			7	7	0.15%
○		○	○	ほし	欲	シク			1	1	0.02%
			○	ほどちかし	程近	ク			2	2	0.04%
	○	○	○	ほどなし	程無	ク	4	4	23	31	0.68%
			○	ほのぐらし	仄暗	ク			1	1	0.02%
				まうしがたし	申難	ク		1		1	0.02%
				まうしやすし	申易	ク			1	1	0.02%
			○	まことし	実	シク		1	2	3	0.07%
	○	○	○	まさし	正	シク	7		9	16	0.35%
			○	まさなし	正無	ク		1	8	9	0.20%
○	○		○	またし	全・完	ク			1	1	0.02%
			○	またなし		ク	1			1	0.02%
○		○	○	まちかし	間近	ク	3		4	7	0.15%
				まはりやすし	廻易	ク			1	1	0.02%
			○	まろし	丸・円	ク		1		1	0.02%
			○	みぐるし	見苦	シク	1	2	5	8	0.18%
○	○	○	○	みじかし	短	ク			3	3	0.07%
		○		みちなし	道無	ク		1		1	0.02%
○			○	みにくし	醜	ク			1	1	0.02%

国際研究論叢

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
				みめよし	見目良	ク		1		1	0.02%
○	○	○	○	むつまし	親・睦	シク	2	1	3	6	0.13%
○	○	○	○	むなし	空・虚	シク	8	19	26	53	1.17%
○		○	○	めづらし	珍	シク	1		8	9	0.20%
		○	○	めでたし	愛	ク	3	1	52	56	1.23%
				めはづかし	目恥	シク	1			1	0.02%
			○	めんぼくなし	面目無	ク	2	1		3	0.07%
		○	○	もどかし	擬・抵悟	シク			1	1	0.02%
		○	○	ものうし	物憂	ク	2		8	10	0.22%
○			○	ものがなし	物悲	シク			1	1	0.02%
				ものがるし	物軽	ク			1	1	0.02%
			○	ものぐるはし	物狂	シク			3	3	0.07%
			○	ものげなし	物気無	ク	1			1	0.02%
			○	ものさびし	物寂	シク			1	1	0.02%
			○	ものさわがし	物騒	シク	3		3	6	0.13%
			○	ものすさまじ	物凄	シク	2			2	0.04%
				もらしやすし	漏易	ク			1	1	0.02%
○		○	○	もろし	脆	ク	2	1	2	5	0.11%
○		○	○	やさし	恥・優	シク	2	5	17	24	0.53%
○	○	○	○	やすし	安・易	ク	10	4	47	61	1.34%
				やみがたし	止難	ク	1			1	0.02%
	○		○	やむごとなし	止事無	ク			5	5	0.11%
			○	やるかたなし	遣方無	ク			1	1	0.02%
		○	○	ゆかし		シク	2		4	6	0.13%
○		○	○	ゆゆし	齋忌・忌	シク	7	3	18	28	0.62%
			○	ゆるしなし	許無	ク		1		1	0.02%
○	○	○	○	よし	良・好・善	ク	13	11	80	104	2.29%
	○		○	よしなし	由無	ク	1	2	15	18	0.40%
				よしみふかし	好深	ク	1			1	0.02%
		○	○	よぶかし	夜深	ク	1			1	0.02%
			○	よろこばし	喜・悦	シク			1	1	0.02%
○	○		○	よろし	宜	シク			4	4	0.09%
○		○	○	よわし	弱	ク	3	5	12	20	0.44%
			○	らうたし	劳甚	ク			2	2	0.04%
				れいぎふかし	礼儀深	ク	1			1	0.02%
○	○	○	○	わかし	若	ク	3		21	24	0.53%
	○	○	○	わづらはし	煩	シク			1	1	0.02%
		○	○	わりなし	理無	ク			2	2	0.04%

軍記物語の形容詞対照語彙表

上代	訓点	八代	中古	見出し語	漢字	活用	保元	平治	平家	三作品計	使用率
			○	わるし	悪	ク			2	2	0.04%
	○		○	わろし	悪	ク	2	2	1	5	0.11%
			○	をかし	可笑・可笑	シク		1	3	4	0.09%
			○	をこがまし	痴	シク	1		1	2	0.04%
			○	をさなし	幼	ク	16	22	40	78	1.72%
○	○	○	○	をし	惜・愛	シク	8	4	22	34	0.75%